

コウヨウザンは次世代の林業を救う

積水ハウス株式会社 上田

積水ハウス株式会社

③～⑥はグループ会社含む

①本社所在地

大阪府大阪市北区

②設立

1960年

③年間売上高

4兆585億円 (2025年1月)

⑤従業員数

32,804名 (2025年7月)

⑥累計建築戸数

264万2,752戸 (2025年1月)

⑦年間建築戸数

31,615 (2025年1月)

⑧主な事業内容



本社：梅田スカイビル



戸建住宅



賃貸住宅



分譲住宅





マンション



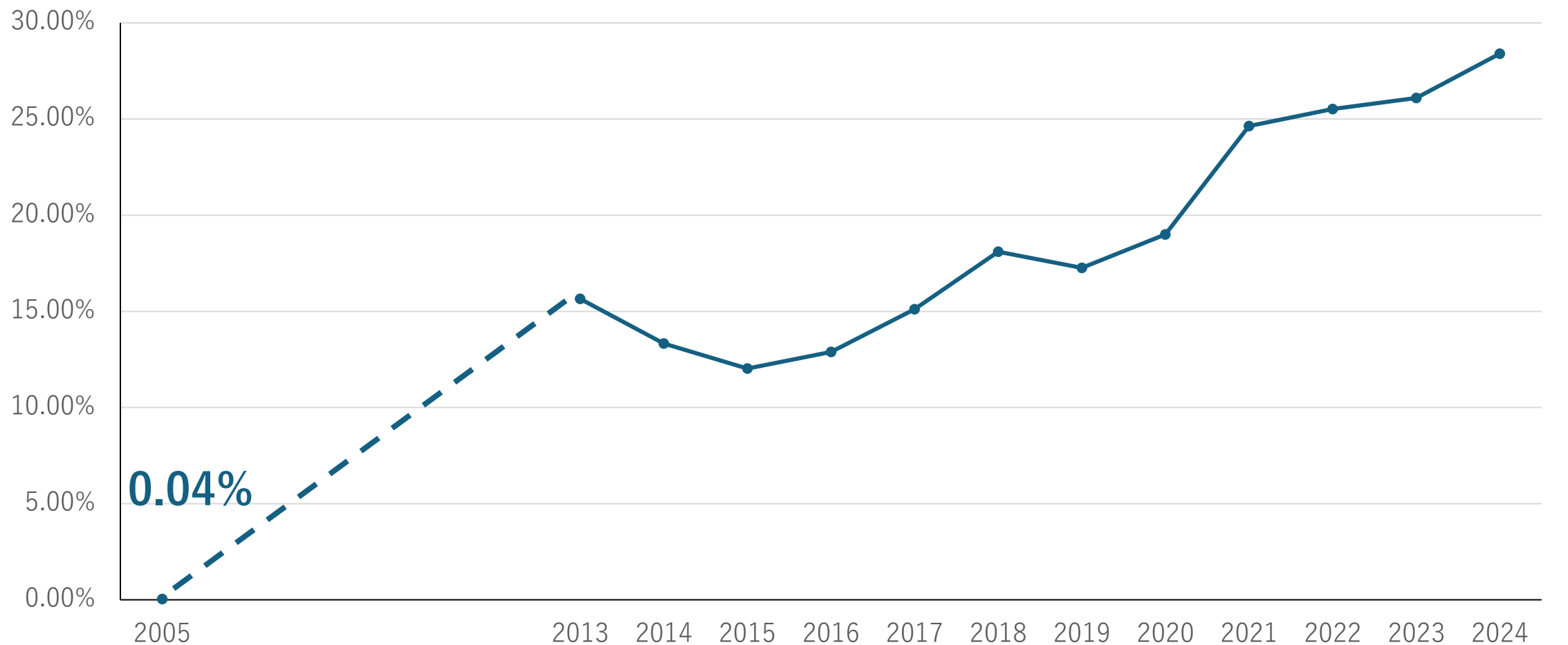
都市再開発



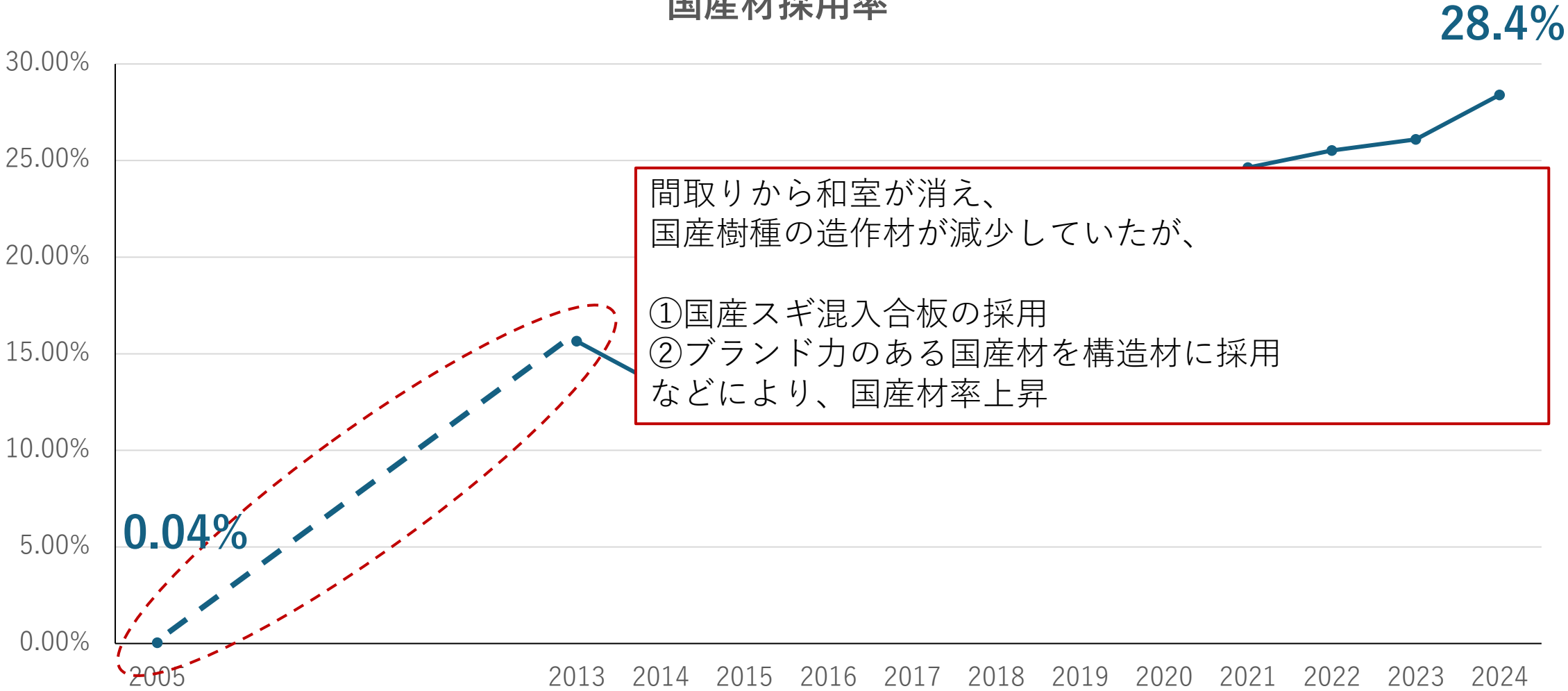
国際事業

	鉄骨住宅	木造住宅
<p>躯体イメージ</p>		
商品名	NBシステム（2階）、 β システム（3階）	シャーウッド
年間棟数	約4,000棟	約4,000棟
木材の使用箇所	屋根下地、壁下地、床下地、仕上げ材に、製材、合板、LVLなど各種材料を使用	<p>左記に加え、</p> <p>柱、梁・・・集成材（120角）</p> <p>耐力壁・・・合板、パーチ</p>

国産材採用率



国産材採用率



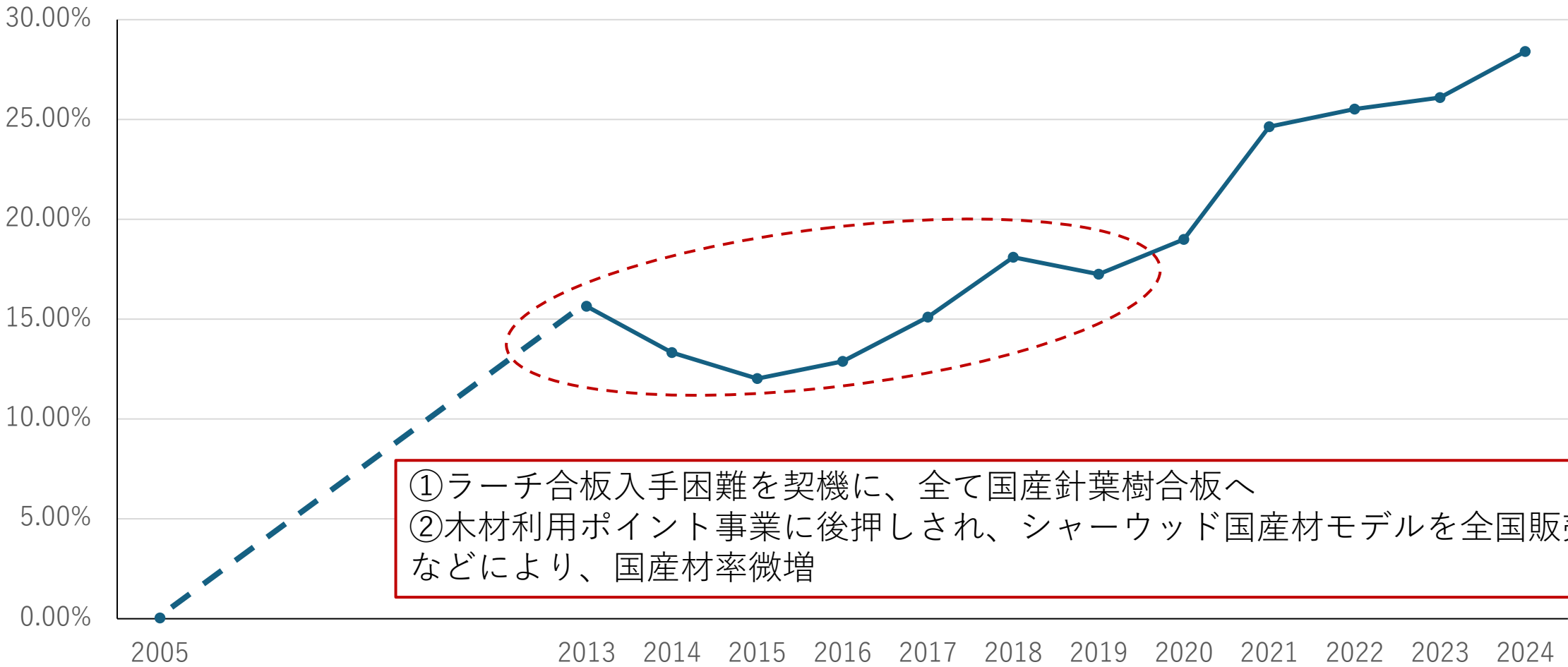
「木材調達ガイドライン」10の指針(2023年10月1日改定版)

- ① 合法性が担保され、デュー・ディリジェンスなどで伐採地までサプライチェーンが確認できる木材
- ② 高い保護価値(HCV^{*3})の毀損を伴わない森林から産出された木材
- ③ 天然林の伐採により生物多様性毀損、森林減少を引き起こしている地域以外から産出された木材
- ④ 絶滅が危惧されている樹種以外の木材
- ⑤ 生産・加工・輸送工程におけるCO₂排出削減に配慮した木材
- ⑥ FPICを尊重し、サプライチェーン上で紛争や人権侵害が発生していない木材
- ⑦ 森林の回復速度を超えない計画的な伐採が行われている地域から産出された木
- ⑧ 計画的な森林経営に取り組み生態系保全に寄与する国産木材
- ⑨ HCS^{*4}の毀損や森林の他用途転換に由来しない木材
- ⑩ 資源循環やカスケード利用に貢献する木質建材

持続可能な木材利用を可能にするため、
伐採地の森林環境や地域社会への影響を考慮

国産材の利用促進の後押し

国産材採用率

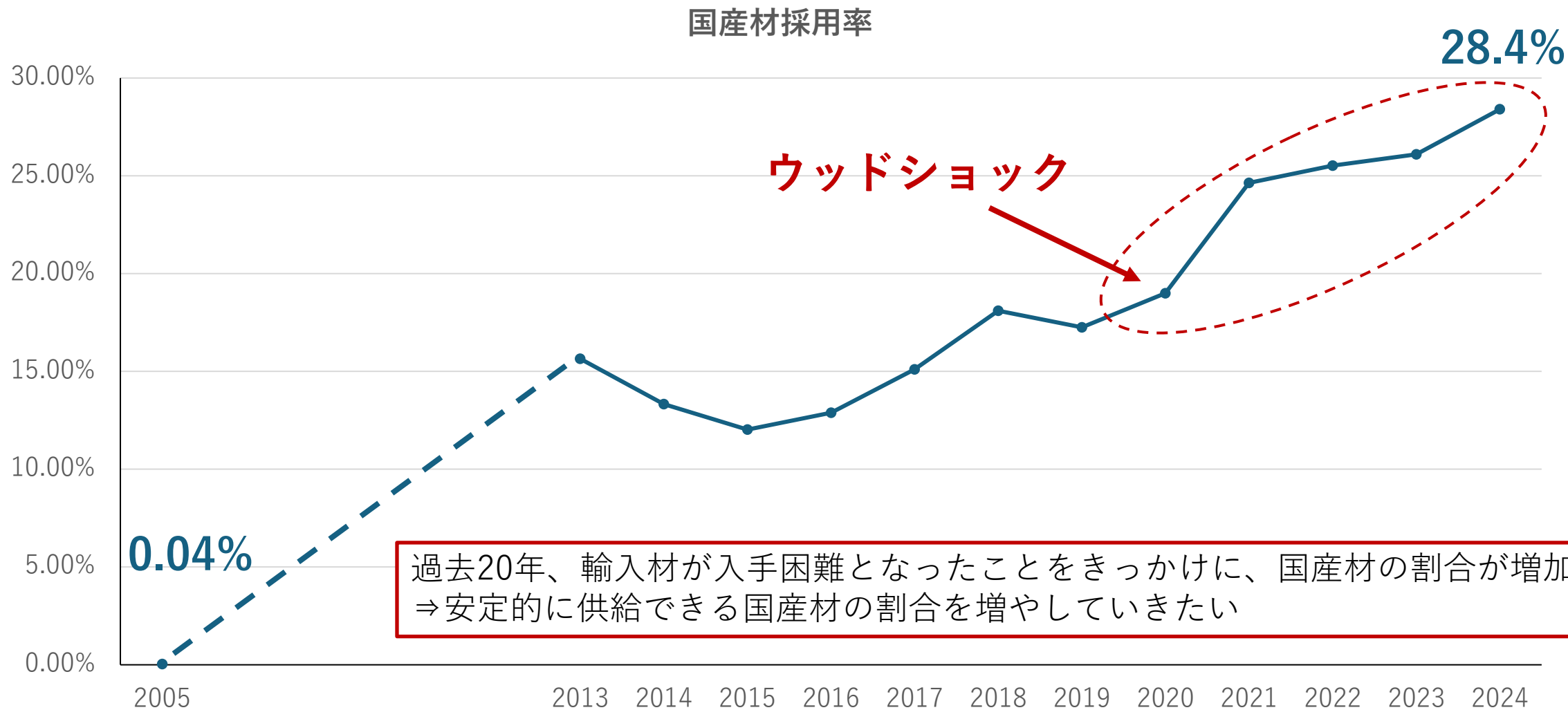


①ラーチ合板入手困難を契機に、全て国産針葉樹合板へ
 ②木材利用ポイント事業に後押しされ、シャーウッド国産材モデルを全国販売などにより、国産材率微増



梁、柱を100%国産材化した「シャーウッド純国産材プレミアムモデル」

地域材のブランド価値向上とユーザーの地域への思いの醸成の両立が評価され、
第一回ウッドデザイン賞受賞（2015年）



- ・ 2024年時点では国産材率28.4%
- ・ 部位別に見ると、構造材の7.7%と低く、この比率を上げることが目標

※横架材・・・ほぼすべて欧州ラミナの集成材

※柱・・・一部国産ブランド柱があるが、それ以外は欧州ラミナ

- ・ 付加価値の高い構造材の比率を上げることで、

林業従事者への還元も多くなり、持続可能な森林経営の後押し

2023年9月 広島県庄原市へ訪問



八谷氏所有林



萌芽更新



苗木

■メリット

- ・伐期30年程度（スギ、ヒノキの半分）
- ・材質が良い、ヤング率が高く、構造用途で利用できる可能性あり

⇒次世代の”スギ、ヒノキ”になる可能性

■考えられる課題

- ・スギ、ヒノキとは異なる特徴的な臭い
- ・製材表面に析出する結晶

抽出成分については未知な部分もある

- ・集成材、合板のJAS未所得

シャーウッドの構造材は構造型式で運用しているため、JAS認証がないと使えない
構造に影響しない家具、外構材などからスタートも検討

■期待すること

- ・為替に影響されない国産材の資源量増加による価格の安定
- ・構造用途に使用できる強度（スギ同等以上）
- ・当社ESG経営への貢献